

技術支援の取組み

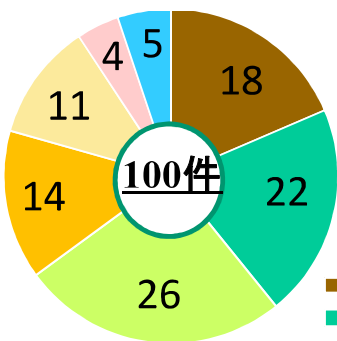
(Activities for Progress of Technical Level of Railway Engineers)

【概要】

会員の皆様が抱える鉄道技術に関する課題(疑問、悩み)等を解決するための技術支援活動を行っています。平成25年度は、会員の技術的課題に関するご相談100件(現地調査18件含む)に対応するとともに、「事故に学ぶ鉄道技術(車両編Ⅱ)」の作成、主要都市での講演会・説明会の実施等、会員の技術力の維持・向上に寄与する活動を展開しました。

①技術的なご相談への対応状況

平成25年度の
分野別ご相談件数



- 土木構造物
- 軌道
- 車両
- 電力
- 信号・通信
- 運転
- その他

●「土木構造物」

- 鋼橋の変状対策に関する現地調査
- 土砂崩壊に関する対策

など

●「軌道」

- 分岐器における脱線防止に関する現地調査
- 伸縮継目に関する車輪接触防止策と管理方法

など

●「車両」

- 車輪のフランジ摩耗に関する現地調査
- 列車すれ違い時の圧力変動

など

●「電力」

- モノレール剛体架線の波状摩耗対策
- 高圧配電線設置装置開閉器一次側接続部の断線の原因

など

●「信号・通信」

- 踏切制御子の雷害対策
- トラフ内の鼠害防止対策

など

●「運転」

- 風による運転規制の考え方

など



鋼橋の変状対策に関する現地調査



車輪のフランジ摩耗に関する現地調査

現地調査の実施状況

②鉄道技術教材

実務の中核を担う中堅技術者クラス向けに、事故に学ぶ鉄道技術(車両編Ⅱ)を新たに作成しました。

事象事例等を原因となった車両の部位毎に体系的に整理し、原因や対策だけでなく、学ぶべきポイントや技術的解説を設け、幅広い知識の習得ができる構成としています。

事象の概要

原因

背景

措置

ポイント

参考図



事故に学ぶ鉄道技術 (車両編Ⅱ)

③講演会・説明会

毎年、関心の高いテーマを選定し、主要都市で講演会等を開催しています。平成25年度は講演会等を延べ14回実施しました。

1) 「電車線路設備 耐震設計指針」説明会

- ・会場: 横浜、大阪
- ・概要: 技術基準関連テーマの成果物「電車線路設備 耐震設計指針」について説明。

2) 「鉄道構造物の健全度判断手続き」説明会

- ・会場: 大阪、広島、新潟、東京、仙台、高松、福岡、名古屋
- ・概要: 調査研究テーマの成果物「トンネルと橋りょうの健全度判定手続き」について説明。

3) 「鉄道土留め擁壁の維持管理」に関する講演会

- ・会場: 仙台、東京、大阪、福岡
- ・概要: 調査研究テーマの成果物「土留め擁壁の健全度判定手続き」等を用いて講演。



説明会の実施状況



公益財団法人鉄道総合技術研究所
鉄道技術推進センター